

○地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業 令和4年度実施状況

(山梨県)

	事業名	事業の概要	事業の実施状況	K P I の達成状況	事業の成果及び評価			
1	就職氷河期世代支援事業 【不安定な就労状態にある方への支援】	①就職氷河期世代支援事業の周知	山梨日日新聞に特集ページとして就職氷河期世代求人や就職イベント情報等を年4回掲載するとともに、8月29日にはLINE広告を実施した。 ①R4.7.3 : 42社の就職氷河期世代求人を掲載、同世代向けのセミナーや山梨県就職氷河期世代安定雇用助成金及び山梨県就職氷河期世代正社員化促進奨励金等の周知 ②R4.8.28 : 36社の就職氷河期世代求人を掲載、就職支援サイト、山梨県就職氷河期世代安定雇用助成金及び山梨県就職氷河期世代正社員化促進奨励金等の周知 ③R4.10.23 : 42社の就職氷河期世代求人を掲載、就職支援イベントや就職支援サイト等の周知 ④R5.2.5 : 18社の就職氷河期世代求人を掲載、同世代が利用できる職業訓練等の周知	【目標】 就職氷河期世代の求人確保数144件 【実績】 特集ページにおいて、延べ233件の求人掲載	・求人掲載した企業に採用状況を確認したところ、5人(うち就職氷河期世代1人)の正規雇用につながった。 ・3年度の求人掲載延べ235件、正規雇用5人からは減少することとなったが、氷河期世代本人だけでなく家族にも周知することができるなど、効率的な周知ができたと考える。			
		②助成金による正社員雇用及び企業の定着への支援(厚生労働省「特定求職者雇用開発助成金(就職氷河期世代安定雇用実現コース)」への上乗せ)				国の特定求職者雇用開発助成金(就職氷河期世代安定雇用実現コース)に上乗せ支給する「山梨県就職氷河期世代安定雇用助成金」による助成を実施した。 制度については、県ホームページ、山梨日日新聞の特集ページへの掲載、労働局や経済団体経由での企業周知を実施した。	【目標】 就職氷河期世代で失業状態又は非正規労働者が正規雇用労働者として雇用された人数180人 【実績】 正規雇用15件、正社員化50件に対して助成金を支給	・15事業所において15人の正規雇用につながった。
		④助成金による正社員化及び企業の定着への支援(厚生労働省「キャリアアップ助成金(正社員化コース)」への上乗せ)				国のキャリアアップ助成金(正社員化コース)のうち、氷河期世代の正社員化に上乗せ支給する「山梨県就職氷河期世代正社員化促進奨励金」による助成を実施した。 制度については、県ホームページ、山梨日日新聞の特集ページへの掲載、労働局や経済団体経由での企業周知を実施した。	正規雇用15件、正社員化50件に対して助成金を支給	・43事業所において50人の正社員化につながった。
2	就職氷河期世代ひきこもり対策推進事業 【社会参加に向けた支援を必要とする方への支援】	①家族会、民間支援団体によるコンソーシアムとの連携によるLINE相談	家族会や民間支援団体で構成する「やまなしひきこもり支援コンソーシアム」によるLINE相談を実施した。	【目標】 LINEの友だちユーザー数100人 【実績】 57人の友だちユーザー登録	・電話や来所が難しい相談者に対する窓口をつくることにより、15人からの相談につながった。 ・LINE相談の継続や家族会の支援につながっている。			
		②Webメディアによるひきこもり支援関連情報の発信	情報の入手しやすさを考慮したWebメディア(SNS広告、ディスプレイ広告)を活用して、国、県、市町村、民間支援団体の支援策や支援メニューの周知を実施した。 広告表示回数: 14,629,409回(前年比; +8,361,010回) 広告クリック回数: 37,035回(前年比; +26,182回) クリック: 0.25%(前年比; +0.08ポイント)	【目標】 ひきこもり地域支援センターが実施する集団支援プログラムへの参加者数11人 【実績】 2人が参加	・ひきこもり当事者や家族へ周知できていると考えられ、社会参加につながった。			